



庶民の会
種村 繁徳
議員

▼農業政策について

Q 農業資材の補助が必要だと思うが、今後どのように取り組むのか。

A 認定農業者の経営改善のため、構造改善加速化支援事業などの国、県の事業を有効に活用し、農業の振興を図ることが必要だと思っている。

Q 補助事業の採択にはポイント制が導入されているが納得できない部分がある。柔軟な対応ができないのか。

A 県に柔軟な対応をお願いしたい。

Q 農地中間管理機構はどのようなものなのか。

A 平成二十六年度から担い手への農地の集積と集約化、耕作放棄地の解消を推進するために、農地の中間受け皿となるのが農地中間管理機構である。

Q 農地法の一部改正という話があるが、どのような内容なのか。

A 未相続地の農地について、相続人の持ち分の過半数以上の同意があれば、利用権の設定ができるという方向で進められている。

▼東京学生寮について

Q 耐震診断の調査時期と結果はどうだったのか。

A 調査は平成二十三年の二、三月に行っており、構造評点の結果は、震度六強で倒壊の可能性が高い〇・一一であり、非常に危険な状態である。

Q 耐震診断の結果を、入寮者や議会に報告していなかったのはなぜか。

A 教育委員会内で、補強、建てかえ、移転、廃止等の検討に時間がかかった。教育委員会としての最終的な方針が遅れたことについては大変申し訳なく思っている。

Q 命にはかえられないため、東京学生寮の廃止はやむを得ないと思っているが、入寮生にいろいろな手助けをしてはどうか。

A 学生寮の廃止による学業への支障が出ないように、可能な限り早く転居先を確保できるような情報の提供や、経済的に厳しい家庭には貸付制度等の紹介など、学生や保護者の方に誠意をもって対応したい。

【その他の質問項目】

◆島原藩薬園跡について

◆平成二十四年度決算について



チーム I
馬渡 光春
議員

▼ふるさと納税について

Q 本市の取り組みと実績はどうか。

A 市のホームページによる情報発信を初め、県外在住者との会合において制度の周知を行っている。平成二十五年十一月末現在の累計で、百二十二件の約二千六百万円となっている。

Q ふるさと納税の利用拡大に向けた施策はどのように考えているのか。

A 一万円以上の寄附をいただいた方に対し、本市の特産品とパンフレットを送っており、本市のPRや今後の定期的な寄附につながる有効な手段だと考えている。今後、ホームページの充実や他市の取り組みを参考にしながら、利用拡大に向け努力したい。

▼島原城について

Q 石垣修復工事の進捗状況はどうか。

A 十一月二十六日現在で石積み全体の約三十%が復旧しており、今年度内に終わるように努力したい。

Q 今回の崩落の原因と対策はどうか。

A 時間雨量八ミリの豪雨が降ったことや城内が舗装化され、その排水が

石垣部に集中したことなどが崩落の要因と考えている。対策として、今回の復旧断面で、ぐり石の適切な厚みを確保すること、島原城内の雨水の適切な排水計画を検討している。

Q 石垣の周りに高い木が植栽されているが、その根が石垣を崩す大きな要因と考えられないのか。

A 景観等の問題もあるため、専門家等多くの意見を聞きながら対応したい。

Q 観光復興記念館は、島原城ならではの運用や活用を考えてはどうか。

A 島原城振興協会等とも協議し、今後、観光客の誘致につながるような有効活用を努めたい。

▼スポーツ振興について

Q 市民のスポーツ推進計画を策定するべきだと思うがどうか。

A 現在、実施しているスポーツ施策を充実させ、健康で長生きし、地域とともに子供たちを育てていきたい。

Q 市民大運動会の開会式の時間が長いとの意見がある。各種競技の前に総会開会式を行うことにより機運を高め、そこで表彰式も行えば時間が短縮できると思うがどうか。

A 総会開会式は関係者のみの開会式のイメージとなるので、現行の開会式の形で時間短縮を図っていきたい。